

名作三十六佳撰

出版既成目次

近松やなぎ●全湖水軒●千葉軒
繪本太功記 全一冊

山田案山子

●生寫朝顔日記 全一冊

竹田出雲●三好松洛●並木千柳

●假名手本忠臣藏 全一冊

松貫四●高橋武兵衛●吉田角凡

●伽羅先代萩 全一冊

近松半二●三好松洛●竹田因幡

●竹田小出雲

●武田信玄●長尾謙信 本朝廿四孝 全一冊

竹田出雲●三好松洛●並木千柳

●竹田小出雲

●菅原傳授手習鑑 全一冊

近松半二●松田ばく●榮善平

●三好松洛

●十三鐘 緇懸柳 妹脊山婦女庭訓 全一冊

三好松洛●淺田可啓●竹田小出雲
●逆梅松平のな盛衰記 全一冊

矢箴梅

●竹田和泉●北窓後一●近松半二

●竹本三郎兵衛

●奧州安達原 全一冊

並木宗輔●淺田一鳥●豊竹甚六

●浪岡鯨兒

●一の谷嫩軍記 全一冊

●不壇浦兜軍記 全一冊

若竹笛身●中村魚眼

●蝶花形名歌島臺 全一冊

梅野下風●近松保藏

●彦山權現誓助劔 全一冊

名作三十六佳撰

出版既成目次

近松半二●近松加作

●伊賀越道中雙六全一冊

近松半二●三好松洛●八民平七

●竹本三郎兵衛

●三日太平記全一冊

竹本三郎兵衛●三好松洛

●近松半二●竹田小出雲

●太平記忠臣講釋全一冊

●玄ハ叟●筒井半二●筒井半孝

●花上野譽石碑全一冊

西澤一風●並木宗助

●北條時頼記全一冊

近松門左衛門

●國姓爺合戰全一冊

平賀源内

●神靈矢口渡全一冊

竹田出雲●三好松洛●近松半二

●吉田冠子

●小野道風青柳硯全一冊

司馬芝叟

●箱根靈驗壁仇討全一冊

竹田小出雲

●太平記菊水の巻全一冊

浪岡橘平●淺田一鳥●安田蛙桂

●玉藻前・曙袂全一冊

豐竹越前少椽

●義經腰越狀全一冊

竹田出雲●三好松洛●並木千柳

●義經千本櫻全一冊

不詳

●鎌倉三代記全

三遊亭圓朝口述 酒井昇造筆記

●安中
草三後開榛名梅ケ香

正價壹圓 特別七十錢

三遊亭圓朝翁の口述に係る著書一度發售せし以來翁の名忽ち世に發揚し爾來活版に付する者實に數十種に至れり然れども中より就て尤も有名なる者此榛名梅ケ香の右より出るものなし實に圓朝翁が第一の著書なり卷中大意を云へば文化年中上州安中驛に義俠草三郎なる者あり親の爲に賊を爲し一度悔悟したるを再度主難を救はんと欲して大賊をあす其間幾多の變遷或は險を犯して危人を援け或は白刃を踏で不幸を救ふ等義俠の赤心痛むべきあり悲しむべきあり翁が人情の表裏を語り得るの得意なるを有名なる速記者酒井君が艶筆に綴れる者あれば一度此書を繕かば正に寢食を忘るゝの思ひあり請ふ速に妙味を味ひ給へ

涙香小史譯述

●指環

正價金廿五錢

嚇々として美人の軟手に輝ける者の指環あり美人能く指環を以て艶男を迷はし艶男之を以て美婦を誘ふ嗚呼指環の月下美人なり本書に至ては即ち然らず此可愛的なる指環を以て忌むべき怖るべき盜賊の規約を結び世人の耳目を暗ませし犯罪の始末を書綴りし者よして原著始て佛京巴里にて發賣せし時喝采を博せし事他より比類なく遂に傑作の中より算へられたる小説あり頃日涙香小史之を譯して都新聞に掲載し世評高かりしを今度一冊子と爲したる者あれば其面白き事の弊堂の贅言を待たず諸君既より知り給はん

女寶

卷中目錄

紙數五百一十餘
布表紙快入新形製本

女子の一代	育兒法	衣服縫製案	毛織物案	四季贈答の部	吉凶人事の部	日用雜書	手紙并二色紙式	女體	音花湯獨案	茶の湯獨案	烈女傳
三	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

正價金四十錢
郵税八錢

本日通本
目丁四通橋本
堂櫻金

丸亭素人譯述

涙美人

菊判大形絹糸綴紙數
三百五十頁○口繪上
等色摺正價金三十錢

本書の當時流行なる探偵小説家にて有名なる丸亭先生の譯述にして原書の國最上出版係る者あり本書始て紐育の市上顯れし忽ち稱賛を得上下一般の交際社會の談柄となり此書を一讀者の共々文學を語る可からざる者ありとの謗を受けるに至り數十部を賣盡したる尤も有名なる小説あり是迄丸亭涙香兩先生譯述の探偵小説數十種有之も皆一度び新聞紙上へ掲載せし者を復版せし者として眞に斬新と稱すべき者就あり然るは此「涙美人」の新譯述にして新聞の出しあらは非ず世の所謂非職小説にあらず實に斬新ある小説といへば速に購讀の榮を賜ひて奇拔文趣を味ひ可憐なる事實を窺ひたらんゝ行讀卷の終るを知らざるに至らん